

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年8月17日(2022.8.17)

【公開番号】特開2021-159610(P2021-159610A)

【公開日】令和3年10月11日(2021.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2021-049

【出願番号】特願2020-67112(P2020-67112)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和4年8月8日(2022.8.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ベース部と、

前記ベース部に所定方向に移動可能に取り付けられた第1可動部と、

前記第1可動部と異なる方向に移動可能な第2可動部と、を備え、

前記ベース部は、前記所定方向と、当該所定方向と異なる方向とに案内可能な規制部を有し、

前記第1可動部は、所定の位置にて前記第2可動部と少なくとも一部が積層している部分を有し、

前記第2可動部は、前記第1可動部の前記所定方向への移動とともに当該所定方向と異なる方向に延びる前記規制部に沿って移動可能であることを特徴とする遊技機。 30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、従来、遊技機は、市場において新機種が断続的に求められており、複雑な動作でより高度な演出が可能なものも求められている。

【手続補正3】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記問題点に鑑みてなされたものであり、複雑な動作でより高度な演出が可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記の目的を達成するために、本発明は、以下のような遊技機を提供する。

本発明は、

ベース部と、

前記ベース部に所定方向に移動可能に取り付けられた第1可動部と、

前記第1可動部と異なる方向に移動可能な第2可動部と、を備え、

前記ベース部は、前記所定方向と、当該所定方向と異なる方向とに案内可能な規制部を有し、

前記第1可動部は、所定の位置にて前記第2可動部と少なくとも一部が積層している部分を有し、

前記第2可動部は、前記第1可動部の前記所定方向への移動とともに当該所定方向と異なる方向に延びる前記規制部に沿って移動可能であることを特徴とする遊技機。

10

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

20

本発明によれば、複雑な動作でより高度な演出が可能な遊技機を提供できる。

30

40

50